

年 組 名前：

障子好みのデザインに

堀田畳製作所(甲府)が新提案

堀田畳製作所(甲府市上菅根町、堀田登喜夫社長)が、写真やイラストを拡大印刷して、ふすま紙や障子紙のデザインに加工するサービスを開始した。画像データを引き伸ばしてふすま紙などに印刷できるプリンターを、県内の畳店で初めて導入。堀田社長は「好きな景色をふすまや障子紙としてインテリアに取り入れてほしい」と話している。

〈渡辺真紗美〉



青空と海の写真を印刷したふすま(上)、富士山や桜の写真を印刷した障子

同社によると、市販されているふすま紙は和風のデザインが多く、障子紙も白地がほとんどという。飲食店などから独自性のあるふすまや障子を求める声が多かったことから、障子紙やふすま紙に直接印刷できるラテックスプリンターを導入した。使用するラテックスインクは無臭の水性インクで、印面の擦れに強く、表面が傷つきにくい特徴がある。使用する写真の画像は、高画質であればスマートフォンなどで撮影した写真でも可能という。ふすまの裏表で異なる画像にすることもできる。

本社敷地内にあるモデルルームでは、和室側を富士山と桜、洋室側を青空と海辺の写真にしたふすまを展示している。

価格は幅90センチ、高さ2000センチの場合、ふすまは1万7600円から、障子は1万4800円から、半窓の幅90センチ、高さ1000センチの場合、ふすまは1万3800円から、障子は1万1千円から。ふすま紙、障子紙のみの販売の相談にも応じる。

堀田社長は「部屋の和洋や用途を問わず、好きなデザインのふすまや障子を楽しんでほしい。今後は部屋のトータルコーディネートを提案していきたい」と話している。

問1 (2024年3月16日付 山梨日日新聞7面)

甲府市の畳製作所が始めたサービスを教えてください。

.....

.....

問2 使用するインクには、どのような特徴がありますか。

.....

問3 あなたなら、どのような写真を加工してもらいたいですか。

.....